

平成20年度 港区立三田中学校 キャリア教育全体計画

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 東京都教育方針

- 中高大連携した取り組み
- ・ 三田キャリア楽習
- 地域との歩み
- ・ 教育計画の説明
- ・ 地域への行事参加
- ・ 地域の人材施設の活用
- ・ 地域の教育力を生かした活動

学校教育目標	
21世紀を共に生きていくために、共感性、コミュニケーション能力のある人間性豊かな生徒の育成を目指す	
めざす学校像	めざす生徒像
人権教育、キャリア教育の推進を図る学校 思いやりのある心豊かな態度と行動学校 基礎基本の習得、自ら学び考える学校 保護者、地域と連携した学校	自他を尊重し、共感し合う生徒 自ら学び、考え、行動する生徒 健康・明朗で礼儀正しい生徒
学校研究主題	
キャリア教育の視点を活かした授業力向上	
キャリア発達を促す学習指導の工夫	

- 生徒の実態
- ・ 明るく素直な生徒が多い
- ・ あいさつ運動や清掃活動にまじめに取り組む生徒が多い
- 保護者・地域の実態
- ・ 教育に関心のある保護者が多い。

望ましい勤労観、職業観							
人間関係形成能力		情報活用能力		将来設計能力		意思決定能力	
他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とのコミュニケーションを図り、協力・共同して物事に取り組む。		学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。		夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。		自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。	
自他の理解能力	コミュニケーション能力	情報収集・探索能力	職業理解能力	役割把握・認識能力	計画実行能力	選択能力	課題解決能力
進路指導目標							
生徒一人一人が自らの生き方について考え、自己実現のために主体的に進路を選択する、能力・態度を育てる。 ・ 自らが個性について理解し、特性、能力について考え、それらを伸ばしていくことができる。 ・ 一人一人の進路を保障するために、基礎学力の向上を図る。 ・ 自己実現のために自己をみつめたり、判断したりする能力を育てる。							

各学年の指導目標		
1学年	2学年	3学年
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己理解を深め、自主的で意欲に満ちた生徒を育てる。 ・ 思いやりのある、心の温かい生徒を育てる。 ・ 相手の立場に立って物事を考え、協力して行動できる生徒を育てる。 ・ 明るく声を出してあいさつができる生徒を育てる。 ・ 礼儀正しい生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の理解を深め、自主的で意欲に満ちた生徒を育てる。 ・ 思いやりのある、心の暖かい生徒を育てる。 ・ 相手の立場に立って物事を考え、協力して行動ができる生徒を育てる。 ・ 明るく礼儀正しい生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業や行事を通して、自主的で意欲に満ちた生徒を育てる。 ・ 思いやりがあり、協力して行動できる生徒を育てる。 ・ 自己理解を深め、意欲を持って学習に取り組み、自主的に学ぶ生徒を育てる。 ・ 明るく礼儀正しい生徒を育てる。

各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
<p>新学習指導要領の趣旨をふまえ、基礎的・基本的事項を確実に身に付けさせるとともに、自ら学ぶ意欲と課題を解決する能力を育てる。</p> <p>(ア) 教科指導の中でキャリア教育の実践を推進するとともに、生徒の興味や関心を生かし、体験的な学習や問題解決的な学習を重視して生涯を通じて学習する意欲と態度を養う。</p> <p>(イ) ICT活用など各教科の指導方法を工夫・改善し、一人一人の生徒の個性や能力を伸ばすとともに、コンピュータ活用能力の育成を図る。</p> <p>(ウ) 全学年とも英語と理科と数学については、個に応じた指導を一層充実させるため、1クラス2分割の少人数授業を実施する。</p> <p>(エ) 第2学年および第3学年の選択教科は、全教科から教科選択できる方法で実施し、自ら学ぶ意欲を高め、課題を解決する能力を育てる。</p> <p>(オ) 生徒と保護者に対し各教科の評価・評定の方法等について説明会を実施する。また、「学習の手引き」も活用し、自ら主体的に学ぼうとする意欲を育てる。</p> <p>(カ) 国際人育成のための教育特区による外国語「国際」を実施し、英会話能力・コミュニケーション能力を向上させるとともに国際感覚を養う。</p>	<p>道徳の時間の指導を充実し、各教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連を図りながら生徒の道徳的実践力を育成する。</p> <p>(ア) よく考え、責任を持って自主的、意欲的に行動できるようにする。</p> <p>(イ) 人権尊重の精神に基づき、他の立場や考え方を理解し、奉仕の精神や感謝と思いやりの心をもって行動できるようにする。</p> <p>(ウ) 自他の生命を尊重し、差別や偏見のないよりよい社会の実現を目指す生徒を育成する。</p>	<p>(ア) 生徒会活動や学校・学年行事を通して、保護者や地域との連携を深め、自主性、協力性、責任感、奉仕的精神を培う。</p> <p>(イ) 学校、学年行事について、キャリア教育の視点に立った目標設定を行い、方向性をそろえることにより教育効果を高める。</p>	<p>(ア) 自ら課題を見付け、自ら学び考え判断しよりよく問題を解決する能力を育成する。</p> <p>(イ) 体験的な学習や問題解決的な学習を通して、社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を育成する。</p> <p>(ウ) いろいろな人の生き方、考え方に触れ、生き方や表現力を学ぶとともに感性を養う。</p>

MITAキャリア楽習

MITAキャリア楽習目標
人間関係形成能力の育成に重点を置いた特色あるキャリア教育及び放課後学習支援の実践を通して確かな学力の向上を目指す
期待する効果・状態
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間関係形成能力や対人関係スキルの向上 ・ 高校・大学・地域の人々とのふれあいを通して自己の将来を考える機会を増やす ・ キャリア教育を中心とした教育課程の編成による確かな学力の向上

特色ある「MITAキャリア楽習」の実践
「人間関係形成能力を育てる」「楽しみながら学ばせる(楽習)」
<p>I 三田高校との連携</p> <p>① 高校生の話を聞く会 ② 生徒会交流会 ③ 夏季休業日の部活交流 ④ 三田高校教員による出前授業</p> <p>II 慶応大学との連携</p> <p>① 学生チューターの導入 ② 大学生の話を聞く会 ③ 夏季休業日のMITA楽習教室 ④ 放課後MITA楽習教室</p> <p>⑤ 体育大学生による部活指導</p> <p>III 地域の人々との連携</p> <p>① 職業講話 ② 和楽器の指導 ③ 吹奏楽部の指導 ④ 放課後MITA楽習教室 ⑤ MITA国際楽習教室 ⑥ ボランティア体験学習</p>